

団体名 **桃山学区健康危機管理サポーター実行委員会**

団体概要 大規模災害発生時に、避難所において避難者の健康管理や避難所の感染症防止の研修を受講した人が中心になり、避難者のせつかく助かった命を失うことのないように災害時対応の知識を使い、避難所運営者と協力して避難者の健康管理、衛生管理を行う。

活動名：指定避難所における健康管理・感染症予防活動

1 活動目的

巨大地震に備え、地震発生時の対応や避難所の運営、避難者の健康管理に努め、避難所の感染症を予防することを旨とする。

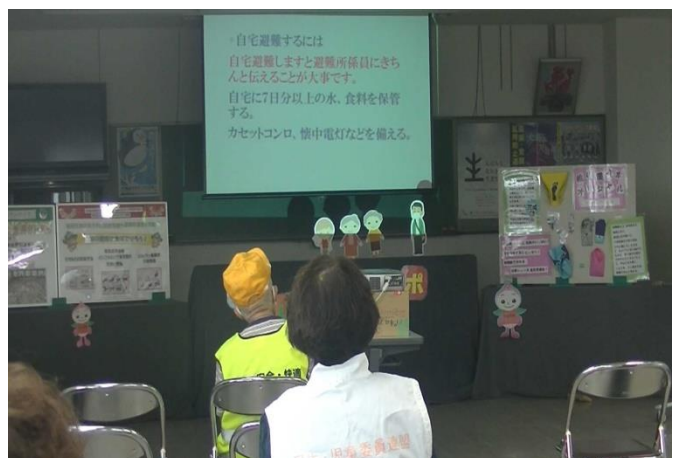
2 活動内容

地域が高齢化するなか、高齢者の防災意識向上と地震被害軽減を図るために、地震発生から避難所までのことを人形劇でわかりやすく行い、震災時の対応や避難所での過ごし方などの啓発活動を行った。同時に「避難生活を健康で過ごすために」というA5判の高齢者向けの防災パンフレットを作成し参加者に配布。

また、健康危機管理サポーター（以下健サポという）の認知度がまだまだ低く、サポーターの人数も少ないので健サポ募集チラシを作成し学区の集まりで配布。ビブスや旗を作成し講習会などで使用し、健サポの認知度向上を図り、活動を理解していただくように務めた。

人形劇の様子

人形劇では演者のセリフと同時にスライドを使用し補足説明を行った。





防災講習（人形劇）参加者



人形劇演者

3

活動の成果

地震発生時の対応、避難所での健康管理・感染症予防の重要性を人形劇で分かり易く伝えることができた。また、アンケートを行い、今回の人形劇で初めて聞いた内容があり参考になったという回答が多数あり人形劇が地震被害の減災に多少なりとも役にたったと思われる。

人形劇では新型コロナの影響で避難所の収容人員が減っているので自宅避難に備えた準備をする必要性を訴えることも行った。

健サポ募集のチラシを町内会にて組回覧していただき、サポーター募集活動とサポーターの活動内容を紹介することができた。

4

活動を振り返り

今年は新型コロナの影響で防災訓練などの学区行事が中止となり私達の健サポの活動も予定通りに行うことができなかったが、桃山学区連絡協議会や福祉推進協議会の協力により今年の最大目標である「高齢者に対する防災講習」は行うことができた。しかし、密を避けるために参加人数を大幅に制限したので多くの人に聞いていただくことができなかったことが心残りです。

次年度も「人形劇による防災講習」を引き続き行うが、高齢者だけでなく幅広い年齢層に対応できるように数種類の人形劇パターンを作成したい。

また、避難所での「密対策」の勉強会を開催する必要がある。

人形劇を行うのに最も苦労したのは、人形劇の経験者が一人もいなかったことです。会場の設営方法、実施方法、実施内容（参加者の防災意識を上げるには、分かり易く行うには）を決めるために何回も打ち合わせを行った。

また、人形劇のリハーサルも夜遅くまで何度も行い、どのように演じたならば参加者に人形劇の趣旨を伝えることができるかを考えたが、アンケートの結果を見ると一定の成果はあったと思われる。



打ち合わせの様子